

食料品における重量記入の取扱いについて（家計調査）

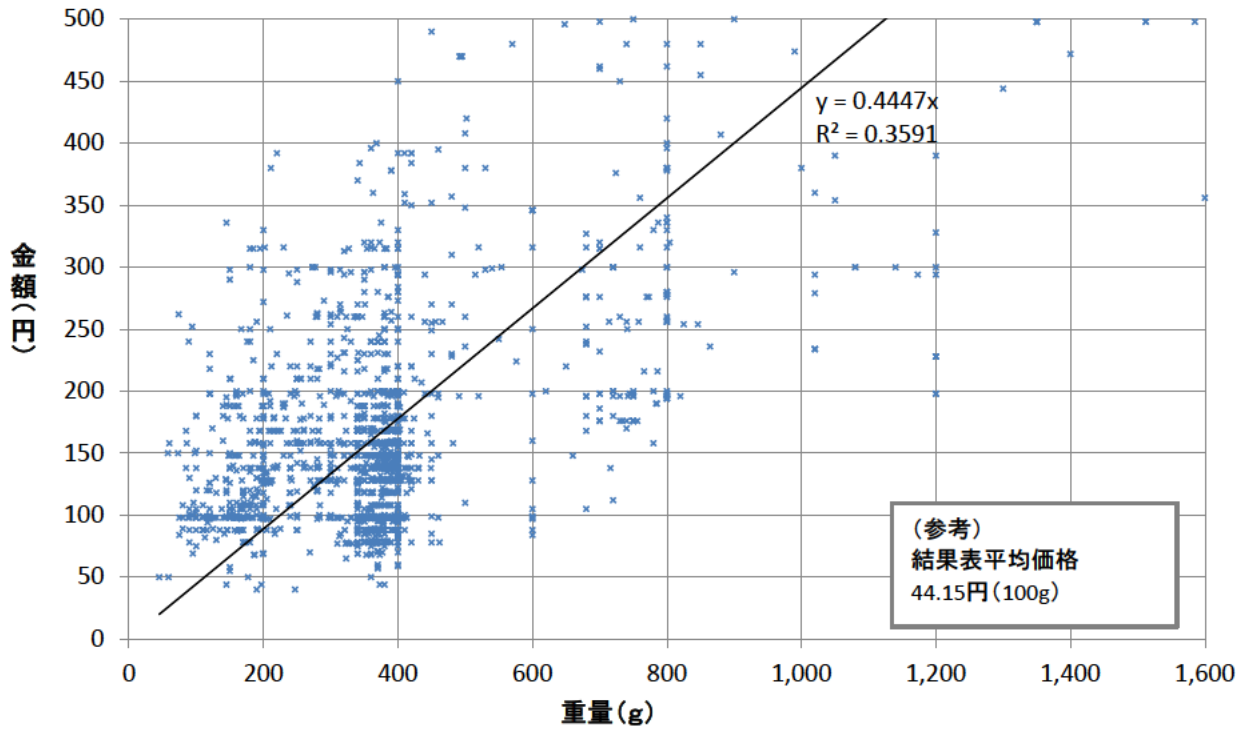
1. 記入方法及び表章の案

品目	記入方法	表章
現行で、はかりを用いて重量記入を行っていると思われるもの（4種） <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮魚介（まぐろ、あじ、いわし...） ・生鮮野菜（キャベツ、ほうれんそう、はくさい...） ・生鮮果物（りんご、みかん、グレープフルーツ...） ・他のパン（食パン以外のパン） 	特に単位を指定せずに記入（パッケージ等に重量記載があるものについては重量記入）	表章しない
<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮肉（牛肉、豚肉、鶏肉...） 	重量記入（密封したものについて政令で重量の記載義務あり）	表章する
<ul style="list-style-type: none"> ・豆腐 	重量記入（「丁」から「g」へ変更）	表章する
<ul style="list-style-type: none"> ・食パン ・卵 	個数記入	表章する
<ul style="list-style-type: none"> ・その他の食料品（加工食品、調味料、飲料...） 	現行どおり、パッケージ等に記載の重量・容量を記入	現行どおり、一部についてのみ表章する

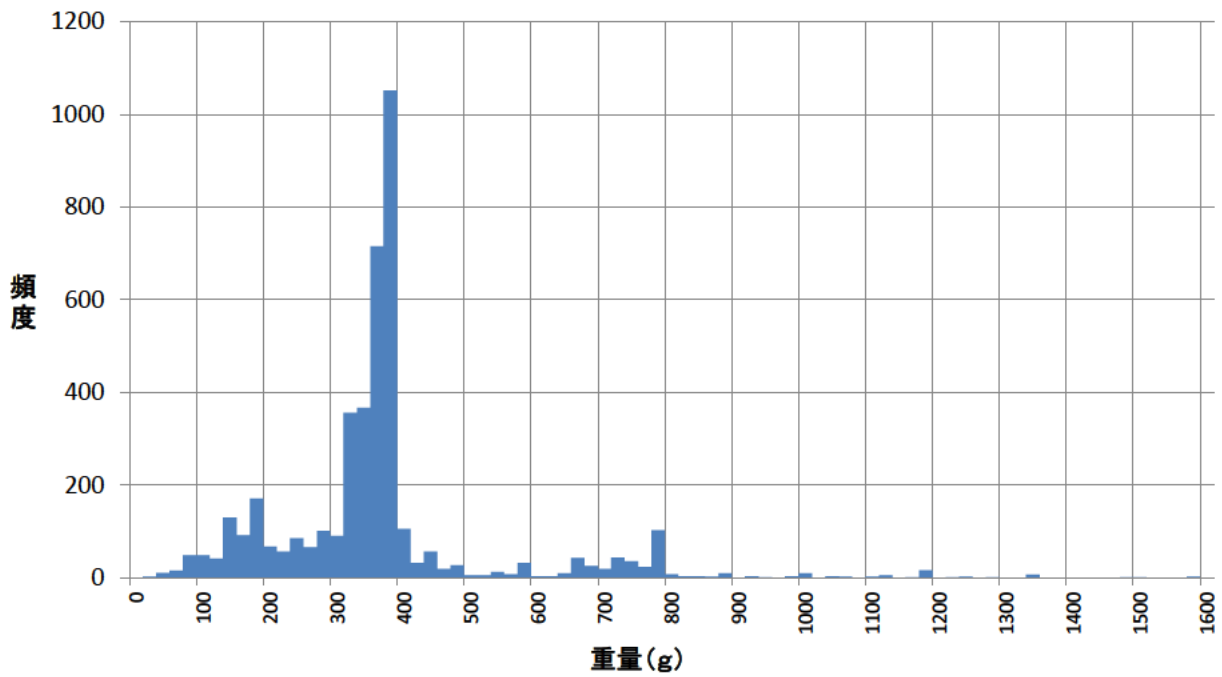
2. 検討結果

別紙のとおり

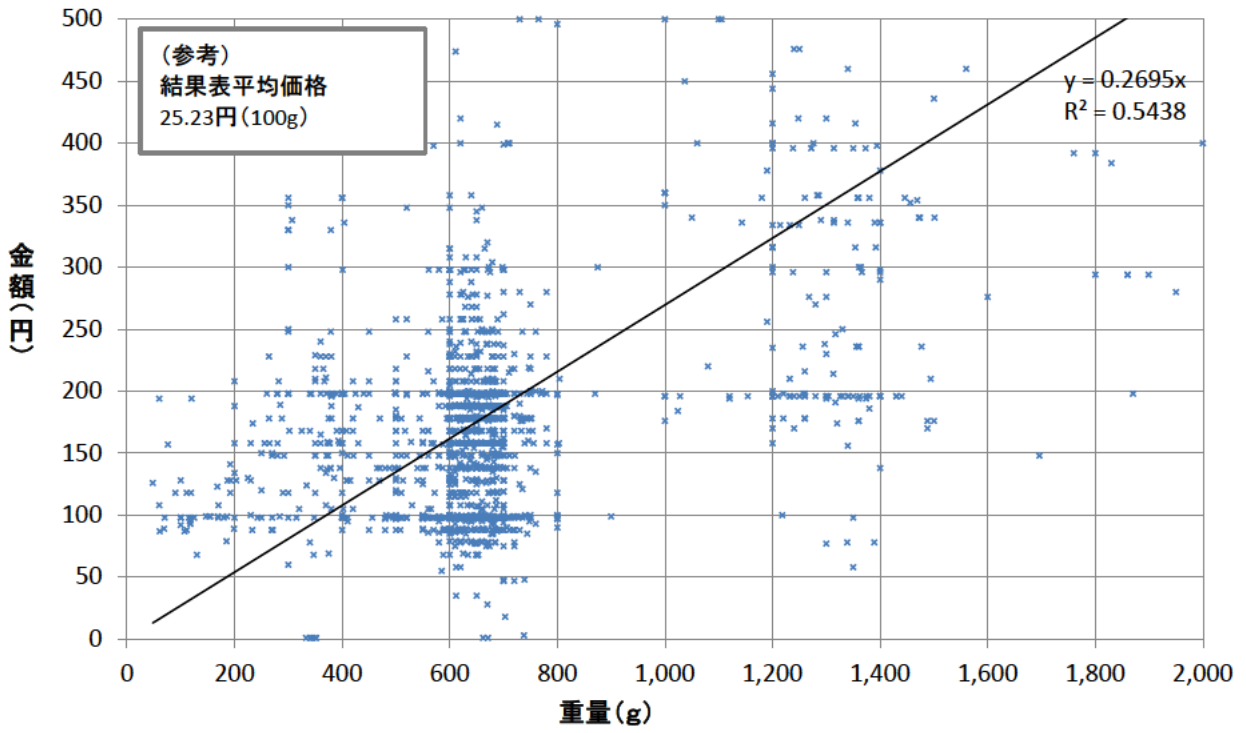
120食パン201204



120食パン201204



238卵201204



238卵201204

